



あいのわ福祉会



Ayase River Times

みんなで「ほっと、いっしょに、いきいきと」
～安心・信頼を大切に 共に考え・学び、お互いの自己実現を目指します～

極寒の季節を迎えて新たに学んだこと

施設長 横内 康行

2月に入り大雪が降り、気温も低く乾燥した日々が続いています。1月下旬の第4週には東京都においても、インフルエンザ流行警報発表が出され、至る所でインフルエンザA・Bがあつという間に蔓延しました。

綾瀬あかしあ園においても例外なく、1月30日から2月5日までに、利用者9名、職員9名の合計18名がインフルエンザA型と診断されました。職員の中には電車通勤時の罹患や家庭内で子供からの感染などで発熱した人も含めてのものです。この時期はどこから感染するかは全く予想が立ちません。知らないうちに感染している場合が多く、熱が出てからその経路の心当たりを想像するしか方法がありません。今回は丁度一番ひどい時期に一週間で18名が罹患したため、一時は利用者のご家族様にもご心配をお掛けいたしました。申し訳ございませんでした。

この間、足立区障害福祉課及び東京都の所管にも報告と相談をし、保健所とは罹患状況を毎日連絡しながら相談を続けました。ご家族の皆様からのお気遣いとして、施設閉鎖をしても良いとの声を頂きましたが、保健所と相談した上で施設閉鎖は致しませんでした。

その理由としては、利用者・職員の総数のおよそ1／3以上の人人が短時間で罹患した場合又は罹患後に病院に入院する程の重篤な罹患者が一定数を超えた場合は、大事を取って施設閉鎖することが懸念であるとのお話を頂きました。今回はそこまでの重症状況ではなく、一般的なインフルエンザの時期に同時に罹患したのではとの判断をされました。

いずれにしても、この時期にチョットの咳も見逃さない予防・予知能力を職員全員が高い意識を持ってスピーディー対処することが必要と大きく反省しています。幸い保健所からは2月12日を持って罹患の終息と判断されました。ご心配をお掛けしたこととご報告並びにお詫びを申し上げます。

【介護技術ひとつの大切さ】

先日、あるNPO法人の講師の方にきて頂き、職員の研修会を行いました。介助において普段、私たちがあたりまえにおこなっている介助の見直しと、実際に職員同士で抱えあって日常の介助を体験してみたりしました。

常に安全を第一に相互にとって負担の少ない介助を探していく大事さを学びました。

日常に流されず一人ひとりと丁寧に向きあえる、そんなほっと、いっしょに、いきいきできる施設を今後、作っていきたいと思います。

原点に返っての研修会を今後も継続的におこなっていきます。

(森)



インフルエンザが猛威をふるつたり、記録的な大雪になつたりと大変な2月でしたが、1グループの皆さんは寒さにも負けず、元気に2月のイベントに因んだ活動を行いました。

まずは、節分の豆まき！小袋に入った豆を各自好きなだけ手にしてフロアを回り、「鬼は外～！」「福は内～！」の掛け声に合わせて撒きました。

また、全員で横一列に並び、誰が一番遠くに投げられるかの競争もしました。わずかな差で1位になった方は、とっても嬉しそうな笑顔を見せてくれました (^ー^)

そして、2月といえばバレンタインデー♪ 今回はバウムクーヘンを使った簡単トリュフを作り、最後は男性だけではなく皆さんでおいしくいただきました。



1グループ

2グループでは、学ぶ活動で「道徳」を行っています。「おもいやり」をテーマに話し合ったり、みんなでそれぞれの良いところを出し合ったりしています。

また、2月の大きなイベントといえば、バレンタインデー！！2グループでは、炊飯器でガトーショコラとココアケーキを作っています。ガトーショコラもココアケーキも、材料を混ぜ合わせて炊飯器に流し込み、炊飯ボタンを押すだけ。炊飯が終わるまで、ラジオ体操をして過ごし、炊飯器から美味しいチヨコの香りがするころには出来上がり♪とても、簡単に美味しく出来上りました。



2グループ

今年は久しぶりに大雪が何度も降って寒いですね。春が待ち遠しい今日この頃です。

さて、3グループでは「春」にちなんだ2つの活動を行いました。

まずは2月3日に「節分・豆まき」を行ないました。季節を分けると書いて「節分」と言うそうです。2月3日を過ぎると春なのですが、まだまだ寒く、部屋での豆まきとなっていますが、皆さん各自で作ったお面を被って豆を投げ合いながら楽しみました。

あれ、全員が鬼って事は福の神さん、どこに行ったのかな？

そして現在は大きな桜の木の貼り絵を制作中です。この時期はまだ梅も咲いてないけれど、ゆっくり楽しくやっていけば、春にはやっと実を結ぶという事で…。



4グループには余暇活動という活動があります。順番で2~3名ずつお散歩へ行き、他の方は、園で体操やレクリエーション、トランポリンを行います。今回お散歩組は、しょうぶ沼公園と西友へ行ってきました。寒い時期ですが、昼間は日差しが暖かくとても気持ちのいい陽気でした。園ではレクリエーションでチーム対抗ボーリングとPK合戦。また、希望者はトランポリンにも乗っています。普段あまり出来ない事が出来るので、皆さんの楽しそうな 表情がたくさん見られました。



【保健室より】

毎日寒い日が続いています。この冬は45年ぶりの大雪が降ったりと一段と寒い冬ですね。エアコンなど暖房を使う事も多いと思いますが、気をつけたいのは室温と湿度です。室温は18°C~20°C、湿度は50%~60%が良いとされています。これは感染予防にも役立ちます。適度な暖房・加湿、手洗い・うがいは大切です。それに水分摂取も必要です。冬は水分をあまり摂らなくなりますが、空気の乾燥や暖房の使用などで、私たちの身体は水分を必要としています。こまめに水分を摂るように心がけましょう。



また、花粉症の時期になります。すでに花粉が飛び始めているようです。昨年までは花粉症でなくても、突然発症することも多い病気です。3月上旬には花粉の飛散のピークを迎えます。今年は花粉の飛散量が少ないと予測されていますが、透明でサラサラの鼻水、くしゃみ、目のかゆみなどの症状がでたら、早めに医療機関へ受診することをおすすめします。

これから季節の変わり目になり、体調管理も難しくなりますが、体調を崩さぬようお過ごしください。

【退職職員紹介】

初めての介護の仕事で、毎日が新鮮でした。
来年度からは新天地で頑張ります!!
2年半の間ありがとうございました。

(大野真人)



頑張ってね!



編集後記

大雪が続き、交通機関への影響や路面の凍結による転倒など何かと悪い影響ばかりが耳に入りますが、夜に深々と人気の無い街に降り積もる雪を見ていると、いつもの目に馴染んだ街の風景が、何か別の国にでも行った様な風景に様変わりしているのに少し驚きました。

いつもと同じ道、いつもと同じ風景でも、『雪』というスパイスがかかると、日常の中に全く違った味をしてくれるんだな~と、しみじみと感じました。

利用者の方々の園での生活でも、そんなスパイスを効かせたワクワクする様な支援を心がけたいと、年度末の個別支援計画を作りながら思っています…。(三宅:記)

